



請願の趣旨

現在、えきまちテラス長浜の1Fで小さなびわ湖水族館オサカナラボの運営をさせていただいています。最初3台の水槽からスタートしてかれこれ5年の月日が経ち6年目に入りました。現在は水槽の数が大小合わせて64台、魚種は在来種52種（観賞魚含む）、外来種10種（観賞魚含む）、その他の生物15種、総数約300匹を展示するに至りました。

2021年10月に現在の場所を整備していただき、その維持管理を委託され実施してまいりました。しかし、当初はそれまでの展示と比べ大差がなく大きな評価は得られませんでした。それからコツコツと水槽を増やし、展示の仕方の工夫をし、その時点から比べて水槽の数と生物種は約2倍に増やしました。

現在では来館者数も概算ではありますが年間で3万～4万人を数え、その評価も良好です。Googleマップの書き込みなどを見ていただけるとわかると思います。しかしながら私どもは契約上、水槽の維持管理のみを請負う業者として採用されています。費用も水槽の維持管理のみの代金になっています。ですのでこれ以上の発展は難しい状況になっています。

そこで、今後のえきまちテラス長浜のあり方として開発当初の目的である「長浜の玄関としてのお出迎えの場」「賑わいの創設」を現状維持で良しとするのか、更なる環境教育資源、観光資源としての充実を図るのかを議論していただきたく思います。

駅前に無料の水族館があるというのは珍しく、湖の国滋賀県において琵琶湖水系の生物を見ることができるのは教育的にも観光的にも有意義であることは実証され明らかになったと自負しています。今年度から水族館の設置当初のからの我々の目標であったフローティングスクール「うみのこ」の長浜タウンウォークラリーの散策ルートの1つに加えていただくことができました。しかし現在の展示状況では水槽間が狭く、人のルートも狭いのでゆっくりと観察することが難しい状況です。ですので教育的にも観光的にもえきまち水族館の更なる充実が望まれるところであり、長浜の教育と文化の発展につながるものと考えます。ご検討をよろしくお願いいたします。

飼育生物種一覧

2024年5月24日現在

	在来種		外来種		その他	
1	ハリヨ	天然記念物	1 オオクチバス	特定外来種	爬虫類	
2	モツゴ		2 コクチバス	特定外来種	1 イシガメ、	
3	イトモロコ		3 ブルーギル	特定外来種		
4	ホンモロコ	琵琶湖固有種	4 ナイルテラピア		両生類	
5	タモロコ		5 タイリクパラタナゴ		2 ウーパールーパー	
6	カワバタモロコ		6 オスカー	観賞魚		
7	ムギツク		7 パロット	観賞魚	甲殻類	
8	ウナギ		8 ジャイアントグラミー	観賞魚	3 サワガニ	
9	ヤマメ		9 グッピー	観賞魚	4 アメリカザリガニ	条件付特定外来
10	アマゴ		10 レインボーテトラ	観賞魚	5 スジエビ	
11	イワナ				6 ヤマトヌマエビ	
12	ビワマス	琵琶湖固有種			7 テナガエビ	
13	ヤリタナゴ					
14	カネヒラ				貝類	
15	アブラボテ				8 イケチョウガイ	
16	オイカワ				9 イシガイ	
17	ワタカ	琵琶湖固有種			10 セタシジミ	
18	ウグイ				11 タニシ	
19	カワムツ				12 カワニナ	
20	ヌマムツ					
21	ズナガニゴイ					
22	カマツカ				動物プランクトン	
23	ビワヒガイ	琵琶湖固有種			13 タマミジンコ	
24	ドンコ					
25	オウミヨシノボリ	琵琶湖固有種			昆虫類	
26	ウツセミカジカ	琵琶湖固有種			14 タイコウチ	
27	ウキゴリ				15 ヤゴ	
28	ビワヨシノボリ	琵琶湖固有種				
29	ニゴイ					
30	ギンブナ					
31	ヒブナ					
32	ニゴロブナ、	琵琶湖固有種				
33	ゲンゴロウブナ、	琵琶湖固有種				
34	タカハヤ					
35	アブラハヤ					
36	コイ					
37	ドジョウ					
38	ホトケドジョウ					
39	スジシマドジョウ					
40	ビワコオオナマズ、	琵琶湖固有種				
41	イワトコナマズ、	琵琶湖固有種				
42	弁天ナマズ					
43	ナマズ					
44	ギギ					
45	アカザ					
46	オヤニラミ	国内外来種				
47	ヌマチチブ	国内外来種				
48	ワキン	観賞魚				
49	ランチュウ	観賞魚				
50	チャキン	観賞魚				
51	色メダカ	観賞魚				
52	ミナミメダカ	絶滅危惧種				